

内容見本用 目次

実際の書籍には、これと同内容のものが表紙裏に入ります。

ページ	項目名
1	式の計算, 実数 (1)
2	式の計算, 実数 (2)
3	集合と命題 (1)
4	集合と命題 (2)
5	2次関数の最大・最小
6	三角比 (1)
7	三角比 (2)
8	正弦定理, 余弦定理, 面積 (1)
9	正弦定理, 余弦定理, 面積 (2)
10	場合の数 (1)
11	場合の数 (2)
12	確率 (1)
13	確率 (2)
14	平面図形
15	数学と人間の活動 (1)
16	数学と人間の活動 (2)
17	数学と人間の活動 (3)
18	式と証明, 複素数と方程式 (1)
19	式と証明, 複素数と方程式 (2)
20	点と直線 (1)
21	点と直線 (2)
22	円の方程式 (1)
23	円の方程式 (2)
24	円と直線 (1)
25	円と直線 (2)
26	軌跡と方程式 (1)
27	軌跡と方程式 (2)
28	軌跡と方程式 (3)
29	不等式と領域 (1)
30	不等式と領域 (2)
31	三角関数の相互関係
32	三角関数

ページ	項目名
33	加法定理とその応用 (1)
34	加法定理とその応用 (2)
35	加法定理とその応用 (3)
36	加法定理とその応用 (4)
37	ベクトルの成分
38	ベクトルの内積 (1)
39	ベクトルの内積 (2)
40	位置ベクトルと図形 (1)
41	位置ベクトルと図形 (2)
42	ベクトルの図形への応用 (1)
43	ベクトルの図形への応用 (2)
44	ベクトル方程式

(月 日)	得点
数学 I	50

1 式の計算, 実数 (1)

★★
1 次の式を展開せよ。(5点×2)

(1) $(2x - y + 3)^2$

(2) $(3x + 1)(x + 3)(3x - 1)(x - 3)$

★★
2 次の式を因数分解せよ。(10点×2)

(1) $(a + b)x^2 - 2ax + a - b$

(2) $3x^2 + 7xy + 2y^2 - 10x - 8$

★★
3 次の式を因数分解せよ。(10点×2)

(1) $2x^4 - 7x^2 - 4$

(2) $(x + 1)(x + 3)(x + 4)(x + 6) + 8$

(月 日)	得 点
数学 I	50

2 式の計算, 実数 (2)

★★
4 (1) $\sqrt{80-32\sqrt{6}}$ を簡単にせよ。(5点)

(2) $\frac{1}{1-\sqrt{2}+\sqrt{3}}$ の分母を有理化せよ。(10点)

★★
5 $a = \frac{1}{\sqrt{7}-\sqrt{3}}$, $b = \frac{1}{\sqrt{7}+\sqrt{3}}$ とするとき, a^2-b^2 , a^3+b^3 の値を求めよ。(10点×2)

★★
6 $2x+|x+1|+|x-1|=6$ を満たす実数 x の値を求めよ。(15点)

3 集合と命題 (1)	数学 I	/ 50
--------------------	------	------

★
7 全体集合 U を $U = \{n \mid n^2 - 9n - 10 < 0, n \text{ は自然数}\}$ とする。 U の部分集合 A, B が、
 $A \cap B = \{7\}$, $\overline{A} \cap B = \{2, 3, 6\}$, $A \cup B = \{1, 2, 3, 4, 6, 7, 8\}$ を満たしている。
 このとき、 $A \cap \overline{B} = \{^{\text{ア}} \square\}$ であり、 $\overline{A} \cap \overline{B} = \{^{\text{イ}} \square\}$ である。(10点×2) [広島工大]

★
8 次の命題について、以下の(ア)、(イ)に答えよ。ただし、 x, y は実数、 m, n は整数とする。
 (A) $|x| < 1$ ならば、 $x^2 < 1$ である。
 (B) m が 4 の倍数ならば、 m は 2 の倍数である。
 (C) $x > y$ ならば、 $x^2 > y^2$ である。
 (D) mn が 6 の倍数ならば、 m または n は 6 の倍数である。
 (ア) 命題が真であるものは \square である。(記号で答えよ)
 (イ) 命題の逆が偽であるものは \square である。(記号で答えよ) (15点×2)

4 集合と命題 (2)	数学 I	/ 50
-------------	------	------

★ **9** 次の文中の□にあてはまる語句を下記の①～④の中から選べ。(ア)12点 (イ)13点

自然数 A について、「 A が 6 で割り切れる」ことは「 A が 2 で割り切れる」ためのア□。また、「 A が 2 で割り切れない」ことは「 A が素数である」ためのイ□。

- ① 必要条件であるが、十分条件ではない
- ② 十分条件であるが、必要条件ではない
- ③ 必要十分条件である
- ④ 必要条件でも、十分条件でもない

★★ **10** 次の問いに答えよ。ただし、 a, b は実数とする。 [類 山口大]

- (1) 命題「 $a=0$ かつ $b=0$ ならば、すべての実数 x について $ax+b=0$ である」の逆と対偶を述べよ。(10点)
- (2) 命題「 $a>0$ かつ $b>0$ ならば、 $ab>0$ である」の逆を述べ、その真偽について、真であれば証明し、偽であれば反例をあげよ。(15点)

5 2次関数の最大・最小 数学 I 50

★
11 2次関数 $y = -x^2 + 4x + a$ ($1 \leq x \leq 4$, a は定数) は, $x = \text{ア}$ のとき, 最大値 7 をとる。このとき, 最小値は イ である。(15点)

★★
12 2次関数 $y = x^2 + 2bx + 6 + 2b$ の最小値が最大になるのは, $b = \text{ア}$ のときで, その値は イ である。(15点)

★★
13 2次関数 $f(x) = ax^2 - 2ax + b$ の $-2 \leq x \leq 2$ の範囲における最大値が 5, 最小値が -4 のとき, 定数 a, b の値を求めよ。(20点)

6 三角比 (1)	数学 I	50
-----------	------	----

★ **14** θ が鋭角で $\tan \theta = \frac{1}{2}$ であるとき, $\sin \theta$, $\cos \theta$ の値を求めよ。(15点)

★★ **15** $\frac{1}{1 + \tan^2 \theta} \left(\frac{1}{1 - \sin \theta} + \frac{1}{1 + \sin \theta} \right)$ の値を求めよ。(15点)

★★ **16** $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の範囲で $\sin \theta + \cos \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$ のとき, $\sin \theta \cos \theta$, $\sin \theta - \cos \theta$ の値を求めよ。

(20点)

7 三角比 (2)	数学 I	50
-----------	------	----

★★
17

(1) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、 $2\cos^2\theta + \cos\theta = 0$ を満たす θ の値を求めよ。(15点)

(2) $90^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、 $2\cos^2\theta + 11\sin\theta - 7 = 0$ を満たす θ の値を求めよ。(15点)

★★
18

関数 $y = \sin^2 x - \cos x$ ($0^\circ \leq x \leq 180^\circ$) の最大値と最小値を求めよ。(20点)

(月 日) 得点

8 正弦定理, 余弦定理, 面積 (1)

数学 I

50

★
19 $\triangle ABC$ において, $AB=8$, $BC=5\sqrt{3}$, $\angle B=30^\circ$ のとき, 辺 AC の長さおよび $\sin C$ の値を求めよ。(15点)

★
20 $\triangle ABC$ において, $AB=1$, $BC=3$, $CA=\sqrt{6}$ であるとき, この三角形の外接円の半径を求めよ。(15点)

★★
21 $\triangle ABC$ において, $BC=7$, $\angle B=105^\circ$, $\angle C=45^\circ$ のとき, AB , AC の長さを求めよ。(10点×2)

9 正弦定理, 余弦定理, 面積 (2) 数学 I 50

★
22 $\triangle ABC$ において, $A=45^\circ$, $b=\sqrt{2}$, $c=1+\sqrt{3}$ のとき (10点 \times 2)

(1) a の値を求めよ。

(2) B, C の値を求めよ。



★★
23 $\triangle ABC$ において, $AB=4\sqrt{3}$, $AC=4$, $\angle ABC=30^\circ$ のとき, この三角形の面積を求めよ。(10点)

★★
24 円に内接する四角形 $ABCD$ があり, $AB=3$, $BC=CD$, $DA=1$, $\angle BAD=120^\circ$ である。このとき, 対角線 BD の長さを求めよ。また, 四角形 $ABCD$ の面積 S を求めよ。(10点 \times 2)

(月 日) 得点

10 場合の数 (1)

数学A

50

★★

25 540 の正の約数の個数は ア である。更に、これらの約数の和は イ である。

((ア) 7点 (イ) 8点)

★★

26 0, 1, 2, 3 の 4 種類の数字から、相異なる 3 個の数字を並べて 3 桁の整数を作ると ア 個できる。また、そのうち偶数であるのは イ 個ある。((ア) 7点 (イ) 8点)

★★

27 男子 3 人、女子 2 人を横一列に並べるとき、両端がともに男子である並べ方は ア 通りある。また、この 5 人を円形に並べるとき、女子が隣り合わない並べ方は イ 通りある。(10点×2)

1 1	場合の数 (2)	数学 A	50
-----	----------	------	----

★
28 7人の男子と5人の女子がいる。この中から委員3人を選ぶ選び方は全部でア□通りある。
また、この3人の委員のうち少なくとも1人が女子である選び方はイ□通りである。
(ア) 6点 (イ) 9点

★★
29 I, S, H, I, K, A, W, Aの8個のアルファベットを横一列に並べてできる順列の総数はア□
通りであり、このうち、両端が母音であるものはイ□通りである。(10点×2)

★★
30 先生が、赤色の風船、青色の風船、黄色の風船をそれぞれ7本ずつ、合計で21本持っている。そして、これらの風船を7人の子どもたちに1本ずつ、全部で7本の風船を配っている。このとき、子どもたちへの風船の配り方はア□通りあり、3色すべての色の風船を少なくとも1本は配るときの配り方はイ□通りある。(ア) 5点 (イ) 10点

(月 日) 得点

12 確率 (1)

数学A

50

★
31 赤玉が4個と白玉が2個入った袋がある。いま、この袋から同時に玉を2個取り出す。このとき、赤玉を2個取り出す確率はア \square であり、赤玉を1個と白玉を1個取り出す確率はイ \square である。

((ア)7点 (イ)8点)

★
32 1から9までの番号を書いた札が1枚ずつ合計9枚ある。この中から3枚取り出すとき、札の番号がすべて奇数である確率はア \square である。また、3枚の札の番号の和が奇数となる確率はイ \square である。(10点 \times 2)

★★
33 原点Oから出発して、数直線上を動く点Pがある。さいころを投げて出た目の数 k に対して、点Pは $+k$ だけ移動するものとする。さいころを3回投げたとき、点Pの座標が15となる確率を求めよ。(15点)

13 確率 (2)

数学A

50

★★

34 赤玉、白玉、青玉がそれぞれ3個ずつ入っている袋がある。この袋から3個の玉を同時に取り出すとき、次の確率を求めよ。(1) 7点 (2) 8点

(1) 赤玉、白玉、青玉が1個ずつである確率

(2) 少なくとも1個は赤玉である確率

★★

35 A, B, C, D, E と書かれた5枚のカードを横一列に並べたとき、母音が隣り合うか、または子音が隣り合う確率を求めよ。(15点)

★★

36 3つのさいころを同時に投げるとき、出た目がすべて異なる確率はア□である。また、3つとも4以下の目が出る確率はイ□であり、出た目の最大値が4となる確率はウ□である。

((ア)イ) 6点 (ウ) 8点

(月 日)	得 点
数学A	50

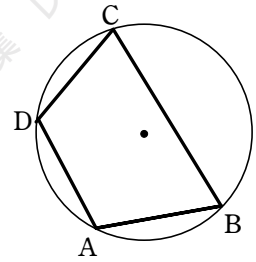
14 平面図形

★ **37** $\triangle ABC$ において、辺 AB を $2:3$ に内分する点を D 、辺 AC を $3:1$ に内分する点を E とする。そして点 D 、 E から辺 BC と平行な直線を引き、それと辺 AC 、 AB との交点をそれぞれ F 、 G とする。

(1) $DG : AB$ を求めよ。(15 点)

(2) $DF : GE$ を求めよ。(10 点)

★★ **38** 右の図で $AB=AD$ 、 $\angle CBD=34^\circ$ 、 $\angle CDB=70^\circ$ とする。このとき、 $\angle A$ 、 $\angle B$ 、 $\angle D$ を求めよ。(7 点, 9 点, 9 点)



(月 日) 得点

15 数学と人間の活動 (1)

数学A

50

★★

39 2つの正の整数 a, b の積が 864 で、最小公倍数が 144 であるという。 a, b を求めよ。(15点)

[愛知学院大]

★★

40 n が整数であれば、 $\frac{n^3}{3} + \frac{n^2}{2} + \frac{n}{6}$ も整数であることを証明せよ。(20点)

[神戸学院大]

★★

41 方程式 $3xy + 3x + y = 5$ を満たす 2 つの整数 x, y の組をすべて求めよ。(15点)

[倉敷芸科大]

(月 日) 得 点

16 数学と人間の活動 (2)

数学A

50

★★★
42

3で割ると2余り, 5で割ると3余り, 11で割ると9余る正の整数のうちで, 1000を超えない最大のものを求めよ。(30点) [早稲田大]

★★★
43

正の整数 N を6進法, 9進法で表せば, それぞれ3桁の数 abc , cab になるという。 N を10進法で表せ。(20点) [山口大]

17	数学と人間の活動 (3)	数学A	50
----	--------------	-----	----

★★★
44 a, b, c を自然数とする。(1) 10点 (2)(3) 各20点 [関西学院大]

(1) a が 3 の倍数でないならば、 $a^2 - 1$ は 3 の倍数であることを示せ。

(2) $a^2 + b^2 = c^2$ が成り立つとき、 a, b の少なくとも一方は 3 の倍数であることを示せ。

(3) a, b が互いに素で、 $a^2 + b^2 = c^2$ が成り立つとき、 c は奇数であることを示せ。

18 式と証明, 複素数と方程式 (1)

数学Ⅱ

50

★★

45 $(2x + y)^5$ を展開したとき, x^5 の係数は ア , x^2y^3 の係数は イ である。また, $(2x + y - z)^6$ を展開したとき, x^2y^3z の係数は ウ である。(5点×3)

★

46 $a > 0, b > 0$ のとき, 不等式 $(a + b)(a^3 + b^3) \geq (a^2 + b^2)^2$ が成り立つことを証明せよ。(15点)

★★

47 3次方程式 $x^3 + ax + b = 0$ の1つの解が $1 + i$ であるとき, 実数の定数 a, b の値を求めよ。また, 他の解を求めよ。(20点)

19	式と証明, 複素数と方程式 (2)	数学Ⅱ	50
----	-------------------	-----	----

★★

48

- (1) $8x^4 + 6x^2 - 9$ を有理数の範囲で因数分解せよ。(10点)
- (2) 4次方程式 $8x^4 - 6x^3 + 6x^2 - 9x - 9 = 0$ の実数解を求めよ。(15点)

[大同工大]

★★

49

- 2次方程式 $x^2 + ax + a - 2 = 0$ (a は定数) について
- (1) この方程式が常に2つの異なる実数解をもつことを示せ。(5点)
- (2) この方程式の2つの異なる実数解を α, β ($\alpha < \beta$) とする。 $\alpha^2 + \beta^2$ が最小となるような定数 a の値を求めよ。(10点)
- (3) a が(2)で求めた値のとき, $\beta - \alpha$ の値を求めよ。(10点)

[高崎経大]

20 点と直線 (1)	数学Ⅱ	50
-------------	-----	----

★
50 次の2点間の距離を求めよ。(5点×2)

(1) (0, 0), (-12, -5)

(2) (1, -2), (-3, 4)

★
51 2点A(-2, -3), B(3, 7)を結ぶ線分ABについて、次の点の座標を求めよ。

(1) 3:2に内分する点 (10点)

(2) 3:2に外分する点 (10点)

★
52 (1) △ABCにおいて、A(1, 5), B(6, -3)で、重心Gの座標が(1, 3)であるとき、頂点Cの座標を求めよ。(10点)

(2) 点A(-1, 2)に関して、点P(2, 5)と対称な点Qの座標を求めよ。(10点)

21 点と直線 (2)

数学Ⅱ / 50

★
53 次の直線の方程式を求めよ。(5点×2)

(1) 点(3, 1)を通り, 傾きが-4

(2) 2点(1, 1), (3, 5)を通る。

★
54 点(-1, 3)を通り, 直線 $4x + 5y + 2 = 0$ に平行な直線と垂直な直線の方程式を求めよ。(20点)

★
55 次の点と直線の距離を求めよ。(10点×2)

(1) 点(0, 0), 直線 $4x + 3y - 15 = 0$

(2) 点(3, 4), 直線 $y = 2x - 7$

(月 日)	得 点
数学Ⅱ	50

22 円の方程式 (1)

★
56 次のような円の方程式を求めよ。(5点×2)

(1) 中心が点(3, 5), 半径6

(2) 点(2, -3)を中心とし, 点(-2, 0)を通る

★
57 次の方程式はどのような図形を表すか。(10点×2)

(1) $x^2 + y^2 + 4x - 6y - 3 = 0$

(2) $x^2 + y^2 - 2x + y - 1 = 0$

★
58 次のような円の方程式を求めよ。(10点×2)

(1) 2点(3, 1), (-5, 7)を直径の両端とする

(2) 3点(0, 0), (2, 0), (0, 2)を通る

23 円の方程式 (2)

数学Ⅱ

50

★
59 次のような円の方程式を求めよ。(1) 5点 (2) 10点

- (1) 点 $(-2, 1)$ を中心とし、 y 軸に接する

- (2) 2点 $(6, 2), (-2, -4)$ を直径の両端とする

★★
60 次のような円の方程式を求めよ。(10点×2)

- (1) 円 $x^2 + 2x + y^2 - 4y - 4 = 0$ と中心が同じで、点 $(4, 2)$ を通る

- (2) 中心が点 $(3, 0)$ で、直線 $4x - 3y - 2 = 0$ に接する

★★
61 3点 $(0, 0), (-1, -2), (3, 1)$ を通る円の方程式を求めよ。(15点)

24 円と直線 (1)	数学Ⅱ	50
-------------	-----	----

★
62 円 $x^2 + y^2 = 25$ …… ①, 直線 $y = -x + 1$ …… ② について (10点×2)

(1) ①と②の共有点の座標を求めよ。

(2) ①が②から切り取る線分の長さを求めよ。

★
63 円 $x^2 + y^2 = 3$ と直線 $y = x + a$ が共有点をもつとき, 定数 a の値の範囲を求めよ。(10点)

★
64 円 $x^2 + y^2 = 4$ 上の点 $(1, \sqrt{3})$ における接線を ℓ とする。(10点×2)

(1) ℓ と x 軸の交点の座標を求めよ。

(2) 中心が $(2, 0)$ で, ℓ に接する円の方程式を求めよ。

(月 日)	得 点
数学Ⅱ	50

25 円と直線 (2)

数学Ⅱ

50

★★

65 傾きが 2 で、円 $x^2 + y^2 = 1$ に接する直線の方程式を求めよ。(15 点)

★★

66 円 $x^2 + y^2 = 25$ について、次の接線の方程式を求めよ。

(1) 円上の点 $(4, -3)$ における接線 (5 点)

(2) 点 $(10, 5)$ を通る接線 (15 点)

★★

67 円 $x^2 + y^2 - 2x - 4y - 3 = 0$ と直線 $x + 2y = 5$ の 2 つの交点と点 $A(3, 2)$ を通る円の方程式を求めよ。(15 点)

26 軌跡と方程式 (1)

数学Ⅱ / 50

★ **68** 2点 $O(0, 0)$, $A(4, 2)$ から等距離にある点 P の軌跡を求めよ。(10点)

★ **69** 2点 $A(-3, 0)$, $B(3, 0)$ に対して次の等式を満たす点 P の軌跡を求めよ。(10点×2)

(1) $AP^2 + BP^2 = 20$

(2) $AP^2 - BP^2 = 12$

★ **70** 2点 $A(-2, 0)$, $B(1, 0)$ からの距離の比が $1:2$ である点 P の軌跡を求めよ。(20点)

27 軌跡と方程式 (2)	数学Ⅱ	50
---------------	-----	----

★
71 2点 $A(-1, -2)$, $B(-3, 2)$ から等距離にある点 P の軌跡を求めよ。(15点)

★
72 (1) 2点 $A(2, 0)$, $B(-2, 0)$ に対して, $AP^2 - BP^2 = 10$ を満たす点 P の軌跡を求めよ。(10点)

(2) 3点 $A(0, 2)$, $B(-1, 0)$, $C(3, -4)$ に対して, $AP^2 = BP^2 + CP^2$ を満たす点 P の軌跡を求めよ。(10点)

★
73 2点 $O(0, 0)$, $A(6, 0)$ からの距離の比が $2:1$ である点 P の軌跡を求めよ。(15点)

(月 日) 得点

28 軌跡と方程式 (3)

数学Ⅱ

50

★★

74 点 A (5, 0) と円 $(x+1)^2 + y^2 = 16$ 上の点 Q を結ぶ線分 AQ の中点 P の軌跡を求めよ。(15点)

★★

75 2点 A (5, 0), B (7, -6) と円 $x^2 + y^2 = 9$ 上の動点 Q からなる $\triangle ABQ$ の重心 P の軌跡を求めよ。(20点)

★★

76 m の値が変化するとき、放物線 $y = x^2 - 4mx + 5$ の頂点 P の軌跡を求めよ。(15点)

29 不等式と領域 (1)

数学Ⅱ / 50

★ 77 次の不等式の表す領域を図示せよ。(5点×2)

(1) $3x + y - 5 \geq 0$

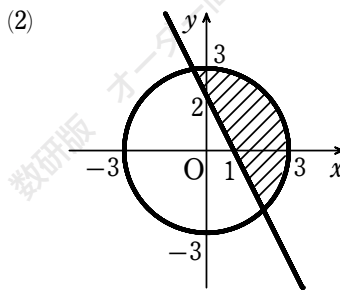
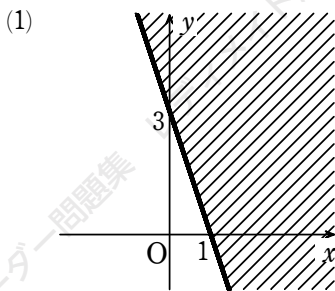
(2) $2x + 3y - 3 < 0$

★ 78 次の不等式の表す領域を図示せよ。(10点×2)

(1) $x^2 + (y - 4)^2 < 16$

(2) $x^2 + 2x + y^2 \geq 0$

★ 79 下の図の斜線部分はどのような不等式で表されるか。ただし、境界線を含むものとする。(10点×2)



(月 日)	得点
数学Ⅱ	50

30 不等式と領域 (2)

★
80 次の連立不等式の表す領域を図示せよ。(5点×2)

(1)
$$\begin{cases} y \leq x + 1 \\ y \geq -x + 1 \end{cases}$$

(2)
$$\begin{cases} 2x + 3y > 6 \\ x - 3y < 9 \end{cases}$$

★
81 次の連立不等式の表す領域を図示せよ。(10点×2)

(1)
$$\begin{cases} x^2 + y^2 < 4 \\ 2x + y > 2 \end{cases}$$

(2)
$$9 \leq x^2 + y^2 \leq 16$$

★
82 x, y が4つの不等式 $x \geq 0, y \geq 0, 2x + 5y \leq 20, 2x + y \leq 12$ を同時に満たすとき、 $x + y$ の最大値と最小値を求めよ。(20点)

3 1 三角関数の相互関係

数学Ⅱ

50

★ **83** θ が第 3 象限の角で、 $\sin \theta = -\frac{3}{4}$ のとき、 $\cos \theta$ と $\tan \theta$ の値を求めよ。(15 点)

★ **84** θ が第 4 象限の角で、 $\tan \theta = -2\sqrt{2}$ のとき、 $\cos \theta$ と $\sin \theta$ の値を求めよ。(15 点)

★ **85** 次の式を簡単にせよ。(10 点×2)

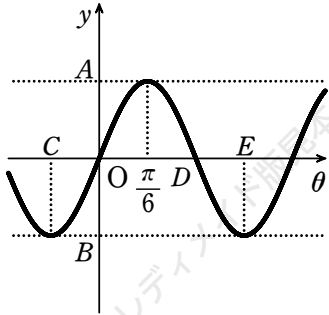
(1) $(3\sin \theta + \cos \theta)^2 + (\sin \theta - 3\cos \theta)^2$

(2) $\frac{\cos \theta}{1 - \sin \theta} - \tan \theta$

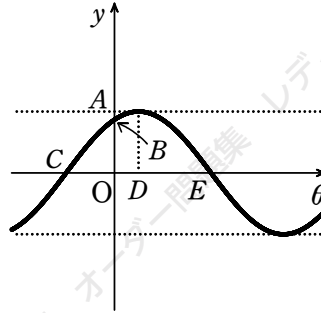
3 2 三角関数

★ 86 下の図は、与えられた関数のグラフである。A ~ Eに適する数値をいえ。(10点×2)

(1) $y = \sin 3\theta$



(2) $y = \cos(\theta - \frac{\pi}{6})$



★ 87 $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。次の等式を満たす θ の値を求めよ。(5点×2)

(1) $\sin \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$

(2) $\tan \theta = -\frac{1}{\sqrt{3}}$

★ 88 $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。次の不等式を満たす θ の値の範囲を求めよ。(10点×2)

(1) $\sin \theta > \frac{\sqrt{3}}{2}$

(2) $\cos \theta \geq -\frac{1}{\sqrt{2}}$

(月 日)	得 点
数学Ⅱ	50

3 3 加法定理とその応用 (1)

★
89 次の値を求めよ。(5点×3)

(1) $\sin 105^\circ$

(2) $\cos 105^\circ$

(3) $\tan 195^\circ$

★
90 α, β は鋭角とする。 $\sin \alpha = \frac{5}{13}$, $\cos \beta = \frac{4}{5}$ のとき, $\sin(\alpha - \beta)$ の値を求めよ。(15点)

★
91 2直線 $y=2x$, $y=-3x$ のなす角 θ を求めよ。ただし, $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ とする。(20点)

(月 日)	得 点
数学Ⅱ	50

3 4 加法定理とその応用 (2)

★ **92** $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$, $\sin \alpha = \frac{1}{3}$ のとき, 次の値を求めよ。(10点×2)

(1) $\cos 2\alpha$

(2) $\sin 2\alpha$

★ **93** $0 < \alpha < \pi$, $\cos \alpha = \frac{3}{5}$ のとき, 次の値を求めよ。(10点×2)

(1) $\sin \frac{\alpha}{2}$

(2) $\cos \frac{\alpha}{2}$

★★ **94** $0 \leq x < 2\pi$ のとき, 関数 $y = \sin x + \sqrt{3} \cos x$ の最大値と最小値, およびそのときの x の値を求めよ。(10点)

35 加法定理とその応用 (3) 数学Ⅱ / 50

★
95 α, β はともに鈍角で、 $\sin \alpha = \frac{3}{5}$, $\cos \beta = -\frac{2\sqrt{5}}{5}$ のとき、 $\sin(\alpha + \beta)$, $\cos(\alpha - \beta)$ の値を求めよ。(20点)

★
96 $\pi < \theta < \frac{3}{2}\pi$, $\cos \theta = -\frac{3}{4}$ のとき、 $\sin 2\theta$, $\cos \frac{\theta}{2}$ の値を求めよ。(10点)

★★
97 α, β, γ は鋭角で、 $\tan \alpha = 1$, $\tan \beta = 2$, $\tan \gamma = 3$ のとき、 $\tan(\alpha + \beta)$, $\tan(\alpha + \beta + \gamma)$, $\alpha + \beta + \gamma$ の値を求めよ。(20点)

(月 日)	得 点
数学Ⅱ	50

3 6 加法定理とその応用 (4)

★★
98 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、次の方程式、不等式を解け。(15点×2)

(1) $\sin 2\theta = \sqrt{2} \sin \theta$

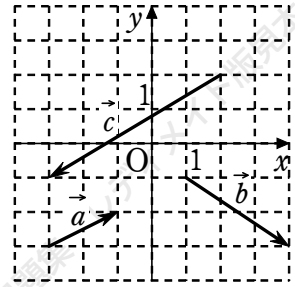
(2) $\cos 2\theta > 7\cos \theta + 3$

★★
99 (1) $0 \leq \theta \leq \pi$ のとき、関数 $y = \sqrt{6} \sin \theta - \sqrt{2} \cos \theta$ の最大値と最小値、およびそのときの θ の値を求めよ。(10点)

(2) $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、方程式 $\sqrt{6} \sin \theta - \sqrt{2} \cos \theta = 2$ を解け。(10点)

37 ベクトルの成分

★
100 右の図のベクトル \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を、それぞれ成分表示せよ。また、各ベクトルの大きさを求めよ。(4点×3)



★
101 $\vec{a} = (2, -1)$, $\vec{b} = (-4, 3)$ であるとき、次のベクトルを成分で表せ。また、その大きさを求めよ。

((1)(2) 各4点, (3)(4) 各5点)

(1) $3\vec{a}$

(2) $-2\vec{b}$

(3) $\vec{a} + \vec{b}$

(4) $-5\vec{a} + 3\vec{b}$

★
102 3点 A(1, 3), B(5, -2), C(-4, 3) について、次のベクトルを成分で表せ。また、その大きさを求めよ。(5点×4)

(1) \overrightarrow{AB}

(2) \overrightarrow{AC}

(3) \overrightarrow{BC}

(4) \overrightarrow{CA}

38 ベクトルの内積 (1) 数学C / 50

★ 103 2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} について、大きさとなす角 θ が、それぞれ次のように与えられたとき、 \vec{a} と \vec{b} の内積を求めよ。(5点×4)

(1) $|\vec{a}|=6, |\vec{b}|=7, \theta=45^\circ$

(2) $|\vec{a}|=3, |\vec{b}|=4, \theta=60^\circ$

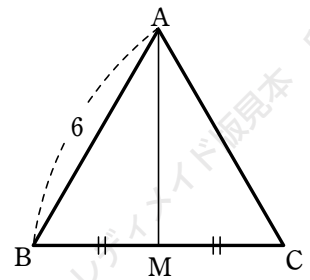
(3) $|\vec{a}|=4, |\vec{b}|=5, \theta=120^\circ$

(4) $|\vec{a}|=8, |\vec{b}|=6, \theta=150^\circ$

★ 104 右の図の正三角形 ABC において、辺 BC の中点を M とする。このとき、次の内積を求めよ。(5点×4)

(1) $\vec{AB} \cdot \vec{AC}$

(2) $\vec{AC} \cdot \vec{AM}$



(3) $\vec{MA} \cdot \vec{BC}$

(4) $\vec{BC} \cdot \vec{CA}$

★ 105 次の2つのベクトルのなす角を求めよ。(5点×2)

(1) $\vec{a}=(3, 1), \vec{b}=(2, 4)$

(2) $\vec{a}=(2, -1), \vec{b}=(-2+\sqrt{3}, 1+2\sqrt{3})$

39	ベクトルの内積 (2)	数学C	50
----	-------------	-----	----

★★
106 (1) ベクトル $\vec{a}=(5, 4)$ に垂直な単位ベクトル \vec{e} を求めよ。(10点)

(2) 2つのベクトル $\vec{a}=(1, 1)$ と $\vec{b}=(1-\sqrt{3}, 1+\sqrt{3})$ のなす角を求めよ。(10点)

★★
107 $|\vec{a}|=2, |\vec{b}|=\sqrt{13}, \vec{a}\cdot\vec{b}=5$ のとき, $|\vec{a}-2\vec{b}|$ の値を求めよ。(10点)

★★
108 $|\vec{a}|=2, |\vec{b}|=1, |\vec{a}+\vec{b}|=\sqrt{6}$ のとき, 次の値を求めよ。(10点×2)

(1) $\vec{a}\cdot\vec{b}$

(2) $|\vec{a}-\vec{b}|$

40 位置ベクトルと図形 (1)	数学C	/ 50
------------------	-----	------

★ **109** 2点 $A(\vec{a})$, $B(\vec{b})$ を結ぶ線分 AB を次の比に内分する点, 外分する点の位置ベクトルを \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。(5点×3)

(1) 5 : 3

(2) 4 : 7

(3) 1 : 5

★ **110** $\triangle ABC$ において, 辺 BC を 3 : 1 に内分する点を D , 外分する点を E とし, $\triangle ABC$ の重心を G とする。 $\overrightarrow{AB} = \vec{b}$, $\overrightarrow{AC} = \vec{c}$ とするとき, 次のベクトルを \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。(5点×4)

(1) \overrightarrow{AD}

(2) \overrightarrow{AE}

(3) \overrightarrow{BD}

(4) \overrightarrow{GD}

★ **111** 3点 $A(\vec{a})$, $B(\vec{b})$, $C(\vec{c})$ を頂点とする $\triangle ABC$ において, 辺 BC , CA , AB を 1 : 4 に内分する点を, それぞれ D , E , F とする。等式 $\overrightarrow{AD} + \overrightarrow{BE} + \overrightarrow{CF} = \vec{0}$ が成り立つことを証明せよ。(15点)

4 1 位置ベクトルと図形 (2)	数学C	50
-------------------	-----	----

★★
112 $\triangle ABC$ の辺 AB , AC をそれぞれ $1:2$, $2:3$ に内分する点を D , E とする。線分 BE , CD をそれぞれ $10:3$, $9:4$ に内分する点は同じ点であることを証明せよ。(15点)

★★
113 平面上に点 P と $\triangle ABC$ がある。 $\overrightarrow{PA} + \overrightarrow{PB} + \overrightarrow{PC} = \overrightarrow{AB}$ が成り立つとき、 $\triangle ABP : \triangle BCP$ を求めよ。(15点)

★★
114 平行四辺形 $ABCD$ の対角線 BD の 3 等分点を、 B に近い方から順に E , F とする。このとき、四角形 $AECF$ は平行四辺形であることをベクトルを用いて証明せよ。(20点)

4 2 ベクトルの図形への応用 (1) 数学C / 50

★ 115 $\vec{OA}=\vec{a}$, $\vec{OB}=\vec{b}$, $\vec{OP}=4\vec{a}-3\vec{b}$ であるとき、点 P は直線 AB 上にあることを証明せよ。ただし、 $\vec{a}\neq\vec{0}$, $\vec{b}\neq\vec{0}$, $\vec{a}\not\parallel\vec{b}$ とする。(15点)

★ 116 3点 A(4, 3), B(7, 1), C(x, -1) が一直線上にあるとき、x の値を求めよ。(15点)

★ 117 $\vec{a}\neq\vec{0}$, $\vec{b}\neq\vec{0}$, $\vec{a}\not\parallel\vec{b}$ とする。次の等式を満たす実数 s, t の値を求めよ。

(1) $3\vec{a}+s\vec{b}=\vec{t}\vec{a}-2\vec{b}$ (5点)

(2) $2s\vec{a}+(5-4t)\vec{b}=\vec{0}$ (5点)



(3) $\vec{c}=\vec{a}+3\vec{b}$, $\vec{d}=4\vec{a}-5\vec{b}$ のとき $s\vec{c}+t\vec{d}=16\vec{a}-3\vec{b}$ (10点)

43	ベクトルの図形への応用 (2)	数学C	50
----	-----------------	-----	----

★ **118** 3点 $A(2, x)$, $B(x, 0)$, $C(-1, 12)$ が一直線上にあるように x の値を定めよ。(15点)

★★ **119** 平行四辺形 $ABCD$ において、辺 AB を $3:2$ に内分する点を E 、対角線 BD を $2:5$ に内分する点を F とする。3点 E, F, C は一直線上にあることを示し、 $EF:FC$ を求めよ。(20点)

★★ **120** $\triangle ABC$ の辺 AB を $2:1$ に内分する点を D 、辺 BC の中点を M とし、 AM と CD の交点を E とする。 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}$, $\overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とおくとき、 \overrightarrow{AE} を \vec{b}, \vec{c} で表せ。(15点)

4 4 ベクトル方程式 数学C / 50

★
121 点 A (5, -6) を通りベクトル $\vec{d}=(2, -3)$ に平行な直線 g が, x 軸と交わる点を B, y 軸と交わる点を C とする。

- (1) B の座標を求めよ。(10 点)
- (2) C の座標を求めよ。(10 点)



★
122 次の直線を, 媒介変数 t を用いて表せ。また, t を消去した式を求めよ。

- (1) 点 A (5, 2) を通り, $\vec{d}=(3, 1)$ に平行な直線 (5 点)

- (2) 2 点 A (1, 2), B (6, 4) を通る直線 (10 点)

★
123 次のような直線, 円の方程式を, ベクトルを利用して求めよ。

- (1) 点 A (7, -2) を通り, $\vec{n}=(4, 3)$ が法線ベクトルである直線 (5 点)

- (2) 中心 C (4, 5), 半径 6 の円 (10 点)